

平成31年度学校経営構想

1 経営方針・目標

安心と信頼と創造 子どもと向き合うことを大切にし、「豊かに生きる力」を育むチャンスをプロデュースする

(1) 安心 人間尊重の教育 教育環境の整備 * ICT 機器を使うと授業がわかりやすい 95%

○だれもが安心して過ごせる学校を作ります * 学校が楽しい 90%

- ・命を大切にする心を育む教育、人権教育を進める。
- ・いじめや問題行動、交通安全や災害に対して常に危機管理を持って指導、対応する。
- ・広い視野(国際的・人権配慮)をもつ。

○学びの環境 (ICT・教室・言語) 整備と充実に努めます

- ・ ICT 機器の活用 ・清潔で落ち着いた教室
- ・教師の服装、言動、美しい言葉、品格の行動は子どもの手本となる。

(2) 信頼 子どもや保護者・地域に信頼される学校

「豊かに生きる力」(知・徳・体をバランスよく)を育む教育 * 学力向上

* 信頼できる先生がいる) 90% * 授業がよくわかる 85%

○わかる授業でどの子にも確かな学力を身につけます

○対話による学び合いで学力向上と人間関係力の向上を目指します

- ・研修の充実、授業改善
- ・推進部による実態、指導の重点を押さえた教育活動(積極的生徒指導)

* 岳洋学舎：有徳の人を育てるため、家庭・学校・社会(地域)が信頼し合う共同体となる。 →岳洋中学校区小中一貫教育

* 子どもと向き合うことを大切にする教師

専門性：授業力、生徒指導力を向上し続ける意識を持つ

授業改善：学習意欲を向上させる手立て、こぼれ落とさない授業づくり
学級づくり(生徒指導)と授業づくり(学習指導)の一体化

使命感：子どもの未来(幸せ)を創る仕事に矜持を持つ

どの子も幸せになる権利を保障 「豊かに生きる力」をつける
子どもたちの進歩が嬉しいと感じられる教師

倫理観：いつでもどこでも職員モラルの向上に努め信頼を創造する

よりよい学校づくりのために切磋琢磨する職員集団

3ゼロ+2(わいせつ・交通事犯・体罰ゼロ 個人情報 の 厳重管理・
適正な会計及び事務手続き) 徹底

(3) 創造 PDCA サイクルを活かした学校運営、組織対応 * 地域と連携を深める努力 90%

○社会の要請、求められる動きに組織で対応します * みんなで何かをするのは楽しい 90%

- ・光輝アンケートの活用 振り返りと具体的な実践
- ・新たな課題への対応 社会に開かれた教育課程等研修の充実
- ・岳洋学舎、岳洋中学校区小中一貫教育 魅力ある学校づくりの推進

2 教育目標・方針 目指す生徒の姿 (何を目指すか)

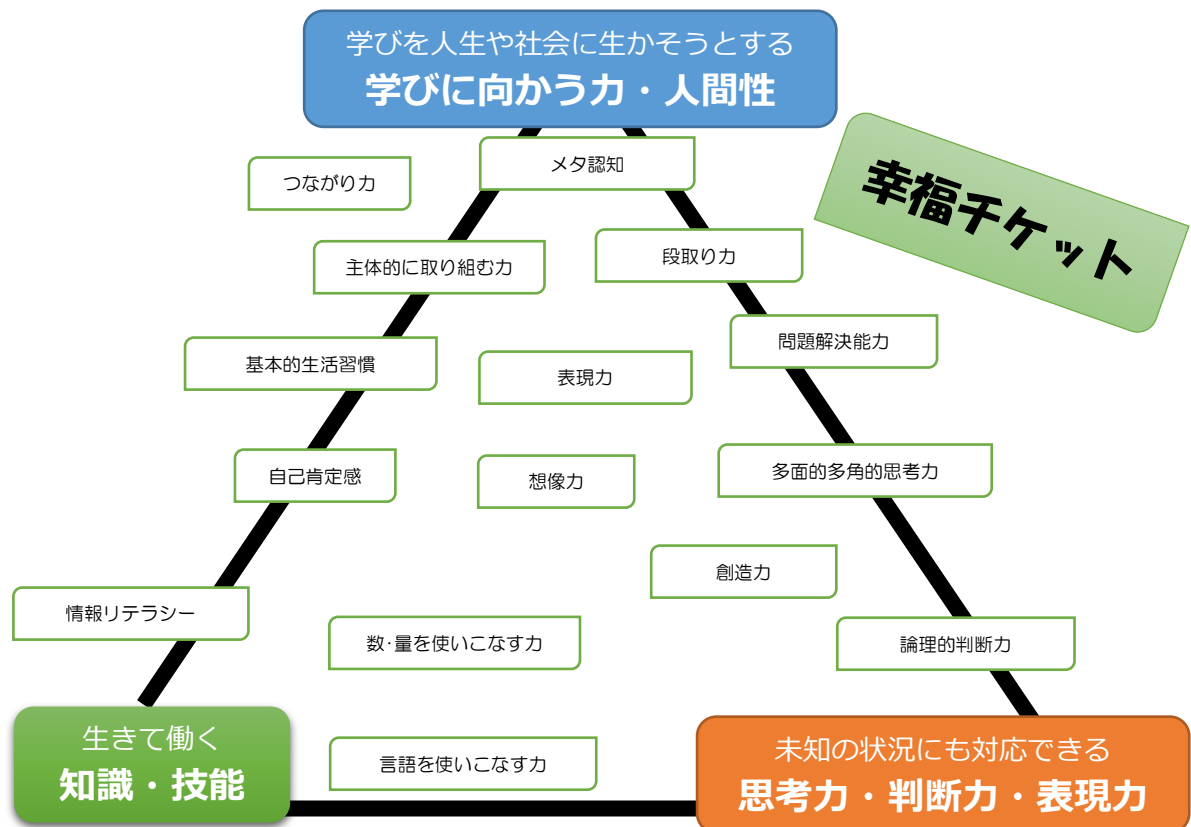
- (1) 岳洋中学校区（岳洋中・小笠東小・小笠南小・小笠北小）の目指す子ども像
自信をもち 自分の力を発揮する小笠の子ども
- (2) 校訓 「強く 正しく 明るく」
- (3) 学校教育目標 (H26～継続中)

共に磨き合い 一人ひとりが光り輝く学校

信頼関係を基盤とし、生徒同士が相互理解を深め、試行錯誤したり、課題を解決したり、よりよい方法を見いだしたりする営み。

自信をもって自分の力を発揮する生徒が学びあう学校

- (4) 「光り輝く」ためにどんな力が必要か 「資質・能力」



3 重点目標 (どのように目指すか)

対話で伸びよう

(3年目)

～自・他・事象とのかかわりを大切に～

「対話」を核とした教育活動により、幸福チケットを手に入れる

自分で作った答を他者との相互作用により、深めたり広げたり、また考えが変容したりする活動

授業で

- ・少なく教えて、考え対話で学ぶ授業
- ・対話の仕掛けと評価の研究
- ・教科の見方・考え方に迫る対話
- ・支援を要する生徒を巻き込む対話
- ・すべての教科で読解力と書く力を育成
- ・授業と連動した主体的な家庭学習
- ・多様性を認め合える道徳

活動で

- ・安心して過ごせる仲間作り
- ・楽しく、気持ちよく過ごすための主体的生徒会活動
- ・立場を経験し、相手の気持ちをくむ
- ・適度に困らせ、乗り越えさせる
- ・自己を見つめ、将来を見据える
- ・「もっとこうしたい」という生徒の想いを実現していく学校行事

学習面の課題

- ◆ 読解力に課題があり、思考や表現に影響している
- ◆ テストで100点以下が多く、200点以上が少ない
- ◆ 家庭学習に対して受け身
- ◆ 論理的思考が弱い
- ◆ 間違いや他人との違いを気にして発言できないことがある
- ◆ わかったつもりになってそのままにしてしまうことがある
- ◆

行動面の課題

- ◆ 不登校や欠席が多い
- ◆ 限られた人間関係をを超えて、他者との関係をうまく築けないことがある
- ◆ 向上心が不足し、目標設定が低かったり、達成しようとする意気込みが弱かったりする
- ◆ 自分の良さや役割がわからず一歩前に進むことができない

チームで

- ・不断の職員研修により指導力を向上
- ・教育活動に効果的なICTを共同研究
- ・3小学校との一層の連携、教育理念の共有
- ・保護者や外部機関との協力関係を強化
- ・教職員の人権感覚を高め、信頼と安心を高める
- ・よりよい働き方を組織的に模索する
- ・PDCAによる振り返りと具体的な実践

4 対話による効果 (なぜ対話を核とするのか)

主体的・対話的で深い学び



- 聞いてくれるとうれしい
- 意見を求められる
- 自分事になりやすい
- 思ったことをすぐに言える
- すぐに助けを求められる
- 役割を担うことになる

- 考えが変容しやすい
- 分からない部分がはっきりする
- 構造化しないと説明しにくい
- 相手がわかるように再構成
- 知と知が組み合わせる
- 多様な意見に触れやすい

4 成果指標 (何をもって評価するか)

<菊川市共通数値目標>

学校が楽しい	90%
授業の内容がよくわかる	85%
学校に信頼することのできる先生がいる	85%
ICT 機器を使うと授業がわかりやすい	90%

<平成 31 年度岳洋中数値目標>

授業に主体的に取り組んでいる	85%
話し合いを通じて考えが深まったと答える生徒	95%
予習をする生徒	75%
復習をする生徒	85%
自分にはよいところがあると答える生徒	85%
安心して「わからない」が言える生徒	92%

<2021 年までの達成目標>

全国学力学習状況調査問題	全国平均以上
不登校生徒数 (2016 比)	半減
(新規不登校を作らない)	